

病理診断科

1. スタッフ（平成28年4月1日現在）

科長（教授） 福嶋 敬宜
副科長（准教授） 大城 久

2. 病理診断科の特徴

病理診断部は、自治医科大学附属病院および関連病院に来院された方々が、適切でレベルの高い医療を受けられるよう、組織診、細胞診、剖検を含めた病理学的な検討を行って、その診断情報を臨床担当科にお伝えすることを主な業務としている。

2014年4月から、「病理診断科」の標榜に伴い、自治医科大学病院に入院中の患者からの要望に応じて、病理専門医が、病変の組織像を説明し、病理診断の疑問に答える「病理診断説明外来」を開設した。

病理診断科のスタッフは現在2名であるが、この説明外来は病理診断部との密接な情報共有により行うものである。

3. 実績・クリニカルインディケーター

1) 病理診断外来件数の動向：

「病理診断説明外来」は、人員の都合なども有り、平成27年度は最小限の対応とした。

2) 部門統計（2015年）

■病理診断説明外来 0件
副部長不在で、人員を出せなかった。今後、どの程度の体制を取っていくかは、引き続き課題である。

※以下、病理診断部実績（参考）

■病理組織診断件数：	15,313件
標本ブロック数	72,733個
ヘマトキシリン・エオジン標本	122,418枚
特殊染色	26,879枚
■迅速診断：	884件
ブロック（検体）数	1,652個
■細胞診件数：	18,772件、40,756枚
パパニコロー染色	36,241枚
特殊染色	4,445枚
<検体別の件数>	
婦人科関連	11,293件
呼吸器	1,748件
泌尿器	2,560件
甲状腺	313件
乳腺	273件
消化器	301件

リンパ節	258件
体腔液	1,734件
他	292件
■電子顕微鏡検索：	264件
■免疫組織化学染色：	2,623件
Her2蛋白検査件数：	576件
ER&PR：	533件
■蛍光抗体法検索：	215件
■Insituhybridization法検索：	98件
■FISH法検索：	74件
■病理解剖診断：	35件

3) 病理診断精度管理について：

（参照：病理診断部実績）

4) 臨床病理カンファレンス

（参照：病理診断部実績）

5) キャンサーボード

臨床各科からの要望に応じて随時出席している。

4. 事業計画・来年の目標

1) 継続的業務への取り組み

病理診断説明外来の開設は、病理診断科の標榜に伴う措置として開始した面があったが、今後は事業として継続性を考慮した体制を構築していきたいが、予算や人的な面で課題は多い。

2) 病理診断部の新棟への移転に向けた準備

平成30年春の新棟への移転を前に、将来の病院機能への一層の貢献を目指して、将来のあるべき病理診断部門の姿を考える、「次世代自治病理プロジェクト」を病理診断部内に昨年立ち上げ、医師・技師混合で具体的な議論を行ってきた。今年、医療安全、デジタル病理の導入についての検討、業務負担の不平等感の是正などを主体に話合っていく予定である。

※病理診断科の業務は病理診断部の業務に直結しており、その詳細は病理診断部の項を参照頂きたい。また、下記ウェブサイトでも多くの情報を公開している。

病理診断部／病理診断科 連絡先：

電話0285-58-7186、Fax 0285-44-8467

ウェブサイト：<http://www.jichi.ac.jp/pathology/>